

令和4年度
公益社団法人日本地すべり学会
関東支部
総会資料



The Japan Landslide Society
Kanto Branch

令和4年(2022年)5月11日
日比谷図書文化館（東京都）

お知らせ

本部行事

●社員総会・シンポジウム（人工斜面の安定度評価と維持管理）・意見交換会

期日：令和4年6月10日（金）

場所：一橋大学一橋講堂（東京都千代田区）・オンライン併用

●第61回研究発表会及び現地見学会

期日：令和4年9月26日～9月30日

場所：博多国際展示場&カンファレンスセンター（福岡県福岡市）ほか

支部行事

今後、現地検討会・講演会等を予定しております。

詳細情報は、決まり次第、学会メーリングリストで連絡するほか、関東支部ホームページに掲載します。

会場利用に関するお願い

1. 館内では、**マスク**を着用してください。
2. 館内は、レストラン（地下1階）・カフェ（1階）以外は、**飲食禁止**です（蓋つきドリンクを除く）
3. 館内は、**撮影禁止**です（事務局は記録のために許可を得で会場内の撮影を行います）
4. 会場内では、**携帯電話**をマナーモードにしてください。

令和4年度

公益社団法人日本地すべり学会関東支部

総会次第

日時：令和4年5月11日（水）11:00～12:00

場所：日比谷図書文化館(地下1階)大ホール（東京都千代田区）

1. 開会
2. 挨拶 関東支部長 櫻井正明
3. 来賓挨拶 一般社団法人斜面防災対策技術協会 関東支部長 上野雄一様
4. 議事
 - 4-1. 議長選任
 - 4-2. 議案
 - 第1号議案 支部役員の選任に関する件
 - 第2号議案 事業報告及び決算の承認に関する件
 - 4-3. 報告
 - 報告1 支部役員の退任・選任等
 - 報告2 令和4年度事業計画・予算に関する報告
 - 4-4. その他
5. その他（連絡事項等）
6. 閉会

【参考】関東支部会員数

基準日	議決権を持つ支部会員数		総会の定足数 (①+②)/5
	①基準日における支部会員	②基準日以降に支部に所属した正会員(個人)：総会出席者	
令和4年3月30日	431名	0名	87名

【参考】総会出欠等の状況（期限：令和4年4月22日）

区分	議決権委任の有無	人数	
出席予定者	有	20	29
	無	9	
欠席者	有	75	75
	無	1	—
計		105	104

第 1 号議案 支部役員の選任に関する件

1. 支部役員の選任

第 5 期(令和 2-3 年度)の支部役員の任期が満了するにともない、関東支部運営内規第 4 条にもとづいて、次の支部役員を選任する。

第 6 期（令和 4-5 年度） 支部長、副支部長、監事

2. 支部役員の候補者

運営委員会による推薦者は、次のとおりある。

支部役員の候補者

役職	氏名	所属	備考
支部長	新井場公德	消防庁消防研究センター	新任
副支部長	若井明彦	国立大学法人 群馬大学大学院 理工学府	再任
監事	白木克繁	国立大学法人 東京農工大学 農学部	新任
監事	楠本岳志	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構	新任

3. その他の支部役員

第 6 期（令和 4-5 年度）の運営委員、幹事は、支部長が委嘱することから（関東支部運営内規第 4 条）、5 月中旬に決定される見込みである（関東支部 Web で公開予定）。

第2号議案 事業報告及び決算の承認に関する件

1. 令和3年度事業報告（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

(1) 総会

令和3年5月7日(金)14:00～14:30

ソニックシティビル 7F 707 会議室（埼玉県）

出席者数 10 名 委任状数 98 名 決議書提出者 6 名 計 114 名（定足数 87 名以上）

総会終了後、ミニ講演会「表層崩壊の発生場と危険度評価」開催

講師：上野将司（関東支部技術委員）

＊録画 Web 公開（担当：林）

(2) 創立 15 周年記念シンポジウム（担当幹事：正田・鷺尾）

令和3年8月24日(火)13:30～16:30

形式：航空会館よりオンライン配信 (Zoom)

「地すべり技術の現状と課題－会長経験者に聞く－」

話題提供者：

「最近の土砂災害と森林の機能について」 落合博貴（(一社)日本森林技術協会）

「九州北部豪雨に伴う斜面崩壊の発生場の特徴」 土屋智（国土防災技術㈱）

「地形情報を活かした斜面災害リスクへの対応」 桧垣大助（日本工営㈱）

＊録画 Web 公開（担当：林）

参加者：155 名

(3) オンライン講習会－富士山と災害－（担当幹事：樽角）

令和3年8月10日(火)14:00～16:30

形式：ハイランドリゾートホテル会議室よりオンライン配信 (Zoom)

「火山としての富士山とその災害」

講師：吉本充宏（山梨県富士山科学研究所富士山火山防災研究センター長）

協力：山梨県富士山科学研究所

＊録画 Web 公開（担当：林）

参加者：80 名

(4) 技術講習会（担当幹事：滝口）

基礎技術講習会「地すべりのすべり面を学ぶ」

令和3年10月26日（火）14:00～17:00

形式：オンライン配信 (Zoom)

講師：柴崎達也（国土防災技術㈱）

＊録画 Web 公開（担当：林）

参加者：148 名(非会員 68 名)

(5) (一社)斜面防災対策技術協会関東支部との共催事業（担当幹事：木村）

令和 3 年 10 月 21 日(木)13：00～16:00

テーマ：令和元年東日本台風(19 号)災害による富岡市内匠地区の災害と対策工の見学

場所：群馬県富岡市内匠地区

主催：(公社)日本地すべり学会 関東支部、(一社)斜面防災対策技術協会 関東支部

協力：群馬県砂防課、富岡土木事務所、岩井建設(株)、タルヤ建設(株)、日本サーベイ(株)

参加者：30 名

(6) 運営委員会・幹事会

① 運営委員会

- ・第 1 回 令和 3 年 4 月 9 日 オンライン会議 出席者 21 名
- ・第 2 回 令和 3 年 12 月 3 日 オンライン会議 出席者 15 名

② 幹事会

- ・第 1 回 令和 3 年 6 月 9 日 オンライン会議 出席者 13 名
- ・第 2 回 令和 3 年 7 月 30 日 オンライン会議 出席者 10 名
- ・第 3 回 令和 3 年 9 月 10 日 オンライン会議 出席者 9 名
- ・第 4 回 令和 3 年 11 月 19 日 オンライン会議 出席者 11 名
- ・第 5 回 令和 4 年 3 月 29 日 オンライン会議 出席者 12 名

(7) 広報活動等

- ・関東支部 Web ページ更新

表 1 令和 3 年度・運営委員会・幹事会出席状況表

区分	氏名	運営委員会	幹事会	幹事会	幹事会	幹事会	運営委員会	幹事会	運営委員会	幹事会
		オンライン 2021/4/9	オンライン 2021/6/9	オンライン 2021/7/30	オンライン 2021/9/10	オンライン 2021/11/19	オンライン 2021/12/3	オンライン 2022/3/29	オンライン 2022/4/15	オンライン 2022/4/24
支部長	櫻井正明	○	○	○	○	○	○	○	○	○
副支部長	若井明彦	○					×		○	
監事	道畑亮一	○					×		×	
	天田雅之						○			
運営委員	白木克繁	○							○	
運営委員	新井場公德	○						○	○	○
運営委員	楠本岳志	○					○		×	
運営委員	岡本 隆	○					○		○	
運営委員	内藤浩史								×	
運営委員	黒沢 勉								○	
運営委員	宇次原雅之	×					○		×	
運営委員	丸 晴弘	○					○		×	
運営委員	木村勝美 (幹事兼任)									
運営委員	滝口 潤 (幹事兼任)									
運営委員	林 一成 (幹事兼任)									
運営委員	齊藤雅志 (幹事兼任)									
技術委員	上野将司	×					○		×	
幹事長	小林 豊	○	○	×	○	○	○	○	○	○
副幹事長	小野田敏	○	×	○	×	×	×	○		○
副幹事長	平木慎一	○	×	○	○		○	×		○
幹事	鷺尾洋一	○	○		○	○		○	○	○
幹事	正田大輔	×	○	×	×	○	○	○		
幹事	鈴木拓郎	○	○		○	×		×	○	
幹事	土志田正二	○	×	×	×	○	×	○	×	○
幹事	佐藤高彰	○	○	○	×	○	○	○	○	○
幹事	関 修								○	×
幹事	木村勝美	○	×	○	○	○	○	○	×	×
幹事	滝口 潤	×	○	○	×	×	×	×		○
幹事	林 一成	○	○	○	○	○	×	○	○	○
幹事	齊藤雅志	○	○	○	×	○		×	×	○
幹事	樽角 晃	×	○	○	×	○	○	○	○	○
幹事	馬場貴志	○	○	○	○	×	○	×	×	×
幹事	田中昭雄	×	○		×	×		×		
オブザーバ	中里 裕臣	○					○		○	
	参加者	21	13	10	9	11	15	12	14	12

2. 令和3年度決算（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

表2 令和3年度決算(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

区分				予算	決算	決算-予算
収益	当期収益	事業収益	シンポジウム	200,000	0	▲ 200,000
			意見交換会	0	0	0
			現地検討会	80,000	0	▲ 80,000
			講習会	0	0	0
			共済事業	0	0	0
			受取利息	0	8	8
		小計	預り金	0	0	0
			小計	280,000	8	▲ 279,992
		資金移動(本部→支部)		300,000	300,000	0
		計		580,000	300,008	▲ 279,992
費用	当期費用	事業費	シンポジウム	280,000	131,506	▲ 148,494
			意見交換会	0	0	0
			現地検討会	160,000	0	▲ 160,000
			講習会	0	62,988	62,988
			共催事業	70,000	11,626	▲ 58,374
			その他	0	8,432	8,432
			管理費	70,000	7,626	▲ 62,374
		小計		580,000	222,178	▲ 357,822
		計		580,000	222,178	▲ 357,822
		当期収支差		0	77,830	77,830

事業収支再掲				
区分		収益	費用	収支差
シンポジウム	オンライン	0	131,506	▲ 131,506
意見交換会	なし	0	0	0
現地検討会	なし	0	0	0
講習会	オンライン	0	62,988	▲ 62,988
共催事業	現地見学	0	11,626	▲ 11,626
計		0	206,120	▲ 206,120

3. 監査報告（令和4年4月4日）

令和3年度の支部事業及び会計について、支部監事により監査が行われた。

監査報告書（関東支部）

2022年4月4日

公益社団法人 日本地すべり学会
会 長 平松 晋也 殿

監事 天田 雅之 

監事 道畑 亮一 

2021年4月1日から2022年3月31日までの会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて決算書の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、会議等への出席、又は支部長から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 決算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、支部の経理の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 支部の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以 上

別表 1：令和 3 年度決算(令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)

				予算	決算	決算-予算	備考
【収益】							
大科目	中科目	勘定科目 小科目	細目				
支部収益				280,000	300,008	20,008	
	事業収益						
		シンポジウム収益		200,000	0	▲ 200,000	
			参加費	200,000		▲ 200,000	
			意見交換会費	0		0	
		現地検討会収益		80,000	0	▲ 80,000	
			参加費	80,000		▲ 80,000	
			意見交換会費			0	
		技術講習会収益					
			参加費				
			意見交換会費				
		その他の事業収益					
			参加費				
			意見交換会費				
			支払保険料		0	0	
	協賛・寄付						
		協賛金					
		寄付金					
	雑収益						
	受取利息				8	8	利子
	預り金						
	助成金				300,000		
本部仮払金(下記に内訳を記載)				300,000			
当期収益合計(A1=支部収益+本部仮払金)				580,000	300,008	▲ 279,992	
内)収益合計中の未収入金(A2)							
【費用】							
大科目	中科目	勘定科目 小科目	細目				
支部費用				580,000	222,178		
	事業費			510,000	214,552	▲ 295,448	
		シンポジウム会費		280,000	131,506	▲ 148,494	
			印刷製本費	100,000		▲ 100,000	
			会場費(会場使用料)	100,000	53,760	▲ 46,240	
			会議費(意見交換会含む)	0		0	
			諸謝金	79,000	66,000	▲ 13,000	
			旅費交通費	0		0	
			支払手数料	1,000	5,572	4,572	
			消耗品			0	
			通信運搬費		6,174	6,174	
		現地検討会費		160,000	0	▲ 160,000	
			印刷製本費	20,000		▲ 20,000	
			会場費(会場使用料)			0	
			会議費(意見交換会含む)			0	
			諸謝金	20,000		▲ 20,000	
			旅費交通費			0	
			借料(バス・レンタカー代)	100,000		▲ 100,000	
			通信運搬費	8,000		▲ 8,000	
			支払手数料	0		0	
			消耗品			0	
			支払保険料	2,000		▲ 2,000	
			諸会費	10,000		▲ 10,000	
			雑費			0	
		技術講習会費		0	82,988		
			印刷製本費	0			
			会場費(会場使用料)	0	35,000		
			会議費(意見交換会含む)	0			
			諸謝金	0	20,000		
			旅費交通費	0			
			借料(バス・レンタカー代)	0			
			通信運搬費	0	6,376		
			支払手数料	0	1,612		
			消耗品	0			
			支払保険料	0			
			雑費	0			
		※その他の事業活動(上記の3つ以外)		70,000	20,058	▲ 49,942	
			印刷製本費	10,000		▲ 10,000	
			会場費(会場使用料)	30,000		▲ 30,000	
			会議費(意見交換会含む)	0		0	
			諸謝金	0		0	
			旅費交通費	10,000		▲ 10,000	
			借料(バス・レンタカー代)	0		0	
			通信運搬費	0	3,176	3,176	
			情報システム費(HP関係など)	20,000			
			支払手数料	0	438	438	
			消耗品	0		0	
			備品	0		0	
			支払保険料	0	8,012	8,012	
			雑費	0		0	
			賞金・賞品	0	8,432	8,432	
	管理費			70,000	7,626	▲ 62,374	
		給与・手当					
			パート給与			0	
			アルバイト給与			0	
		会場費		25,000		▲ 25,000	
		会議費				0	
			支部総会費			0	
			幹事会・運営委員会費			0	
		印刷製本費		10,000		▲ 10,000	
		旅費交通費				0	
		通信運搬費		15,000		▲ 15,000	
		消耗品		15,000	6,960	▲ 8,040	
		事務用品費				0	
		事務費				0	
		備品				0	
		外注費				0	
		支払手数料		5,000	146	▲ 4,854	口座振替手数料
		公租公課	印紙代			0	
		雑費		0	520	520	残高証明手数料
当期費用合計(B1)				580,000	222,178	▲ 357,822	
内)未払金(B2)				0	0	0	
当期収支差額(C=A1-B1)				0	77,830	77,830	
前期繰越額(D)				905,459	905,459	0	
内)前期未払金(E)							
内)当期前払金(F)					40,000		令和4年度シンポジウム会場費
次期繰越収支差額(D+C+B2-E-F)				905,459	943,289	37,830	通帳残高

報告 1 支部役員の退任・選任等

令和 3 年度総会以降における支部役員の退任・選任等は、次のとおりである。

1. 支部役員の退任

令和 4 年 3 月で退任した運営委員・幹事は次表のとおりである。

表 3 退任した監事・運営委員・幹事

区分	氏名	所属	備考
監事	天田雅之	群馬県 環境森林部森林局 森林保全課	届出による (R3/4-R4/4)
運営委員	岩舘知哉	山梨県 県土整備部	届出による (R2/4-R4/3)
幹事	大村俊光	山梨県 県土整備部 砂防課	届出による (R3/4-R4/3)

2. 支部役員の選任

令和 4 年 4 月に、新たに支部長が選任した運営委員・幹事は次表のとおりである。

表 4 選任した運営委員・幹事

区分	氏名	所属	備考
運営委員	内藤浩史	山梨県 県土整備部 砂防課	R4/4 より
運営委員	黒沢 勉	群馬県 環境森林部 森林保全課	R4/4 より
幹事	関 修	山梨県 県土整備部 砂防課	R4/4 より

3. 代議員の交替

関東支部選出の代議員のうち、正会員(団体)の代表者として選出された代議員に、代表者の変更があったことから、令和 4 年 4 月 14 日に代議員の変更を本部に届け出ました(理事会報告事項)。

表 5 交替を届け出た度代議員 (関東支部)

区分		氏名	
群馬県環境森林部 森林保全課	旧	天田 雅之	アマダ マサユキ
	新	黒沢 勉	クロサワ ツトム
山梨県県土整備部 砂防課	旧	岩舘 知哉	イワダテ トモヤ
	新	内藤 浩史	ナイトウ ヒロシ

4. その他

過去の退任者 2 名に対して、功労者に対する感謝状の贈呈を実施した(郵送による)。

井上敬資 殿

落合博貴 殿

別表2 第5期(令和2-3年度)関東支部役員 令和4年4月5日現在

区分	氏名	所属	備考	役割分担
支部長	櫻井正明	株式会社山地防災研究所		
副支部長	若井明彦	国立大学法人 群馬大学大学院 理工学府		
監事	道畑亮一	一般財団法人 砂防・地すべり技術センター		
	天田雅之	群馬県 環境森林部森林局 森林保全課	(退任)	
運営委員	白木克繁	国立大学法人 東京農工大学 農学部森林環境学講座		
	新井場公德	消防庁消防研究センター		
	楠本岳志	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 施設工学研究領域地域防災ユニット		
	岡本 隆	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 森林研究部門		
	内藤浩史	山梨県 県土整備部 砂防課	新任	
	黒沢 勉	群馬県 環境森林部 森林保全課	新任	
	宇次原雅之	日特建設株式会社 技術開発本部		
	丸 晴弘	日本工営株式会社		
	木村勝美	株式会社ダイヤコンサルタント 防災・保全事業部	幹事兼務	
	滝口 潤	明治コンサルタント株式会社 東京支店防災課	幹事兼務	
	林 一成	奥山ボーリング株式会社	幹事兼務	
	齊藤雅志	国土防災技術株式会社 技術本部技術部	幹事兼務	
技術委員	上野将司	応用地質株式会社		
幹事長	小林 豊	日本サーベイ株式会社		総括
副幹事長	小野田敏	アジア航測株式会社 コンサルタント事業部		会計
	平木慎一	株式会社日さく 東日本支社 調査部		総務1
	鷺尾洋一	国立研究開発法人 土木研究所		企画2
	正田大輔	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門		企画2
	鈴木拓郎	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 森林研究部門 森林防災研究領域		総務1
	土志田正二	消防庁消防研究センター		広報
	佐藤高彰	群馬県 環境森林部 森林保全課		広報
	関 修	山梨県 県土整備部 砂防課	新任	広報
	木村勝美	株式会社ダイヤコンサルタント 経営本部 品質管理部		総務2
	滝口 潤	明治コンサルタント株式会社 技術本部 東京技術部防災課		企画1
	林 一成	奥山ボーリング株式会社		企画1
	齊藤雅志	国土防災技術株式会社 技術本部技術部		企画1
	樽角 晃	応用地質株式会社		企画1
	馬場貴志	日本工営株式会社 国土保全事業部 防災部		総務2
	田中昭雄	株式会社環境地質		企画1
出納事務担当者	小野田敏	アジア航測株式会社 コンサルタント事業部		
支部情報・事務責任者	小林 豊	日本サーベイ株式会社		
アウトリーチ連絡会担当	林一成	奥山ボーリング株式会社		
会員数対策担当	滝口潤	明治コンサルタント株式会社		
(理事会窓口/副会長)	中里 裕臣	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門		

幹事会役割分担

総括	全体調整・渉外	小林(幹事長)
会計	会計処理、監査対応、通帳の保管・出納処理 (出納事務担当者)	小野田(副幹事長)
総務1	総会等運営	平木(副幹事長)・鈴木
総務2	幹事会・運営委員会運営、森林CPD管理	木村・馬場
企画1	現地検討会、講習会の企画・運営(現地検討会・若手対策事業)	林・齊藤・樽角・田中・滝口
企画2	シンポジウムの企画・運営	正田・鷺尾
広報	広報活動・関係機関調整	土志田・佐藤・関
特任事項	支部Web管理	林
	共済事業	木村

報告2 令和4年度事業計画・予算に関する報告

1. 令和4年度事業計画(理事会承認)

- (1) 支部総会：令和4年5月11日
(日比谷図書文化館地下1階大ホール(東京都))
- (2) 関東支部シンポジウム：令和4年5月11日
(日比谷図書文化館地下1階大ホール(東京都))
- (3) 意見交換会：令和4年5月11日 [東京都の新型コロナウイルス感染症対策を考慮し中止]
- (4) 現地検討会
 - ・令和4年5～7月 1回
- (5) オンライン講習会
 - ・令和4年9～10月 1回
- (6) 基礎技術講習会
 - ・令和4年10～11月 1回
- (7) 共催行事
 - ・令和4年11月 (一社)斜面防災対策技術協会関東支部との共催
- (8) 運営委員会・幹事会等
 - ① 運営委員会
 - 第1回令和4年4月、第2回令和4年12月
 - ② 幹事会
 - 第1回令和4年4月、第2回令和4年6月、第3回令和4年9月
 - 第4回令和4年12月、第5回2023年3月
 - ③ (一社)斜面防災対策技術協会関東支部との定例会
 - 令和4年6月
- (9) 災害調査
 - ・災害発生状況に応じて本部と連携し適宜実施

2. 令和4年度予算(理事会承認)

令和3年度予算は次のとおりである。

表6 令和元年度予算(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

2022年度予算

2022年度予算				
収益	当期収益	事業収益	シンポジウム	200,000
			意見交換会	200,000
			現地検討会	100,000
		受取利息	0	
		預り金	0	
		小計	500,000	
	資金移動（本部→支部）		300,000	
計		800,000		
費用	当期費用	事業費	シンポジウム	280,000
			意見交換会	200,000
			現地検討会	140,000
			オンライン講習会	40,000
			基礎技術講習会	50,000
			共催事業	20,000
		管理費	70,000	
		小計	800,000	
	計		800,000	
当期収支差			0	

事業収支再掲			
区分	収益	費用	収支差
シンポジウム	200,000	280,000	▲ 80,000
意見交換会	200,000	200,000	0
現地検討会	100,000	140,000	▲ 40,000
オンライン講習会	0	40,000	▲ 40,000
基礎技術講習会	0	50,000	▲ 50,000
共催事業	0	20,000	▲ 20,000

別表3 令和4年度予算(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

				2021年度予算	2022年度予算	差額
【収益】						
勘定科目						
大科目	中科目	小科目	細目			
支部収益				280,000	500,000	220,000
	事業収益	シンポジウム収益		280,000	500,000	220,000
			参加費	200,000	400,000	200,000
			意見交換会費		200,000	200,000
		現地検討会収益	80,000	100,000	20,000	
			参加費	80,000	100,000	20,000
本部仮払金（下記に内訳を記載）			300,000	300,000	0	
					0	
当期収益合計（A1=支部収益+本部仮払金）				580,000	800,000	220,000
内）収益合計中の未収入金（A2）						
【費用】						
勘定科目						
大科目	中科目	小科目	細目			
支部費用				580,000	800,000	220,000
	事業費	シンポジウム会費		510,000	730,000	220,000
				280,000	480,000	200,000
			印刷製本費	100,000	100,000	0
			会場費（会場使用料）	100,000	90,000	-10,000
			会議費（意見交換会含む）		200,000	200,000
			諸謝金	79,000	89,000	10,000
			旅費交通費			0
			支払手数料	1,000	1,000	0
		現地検討会費		160,000	140,000	-20,000
			印刷製本費	20,000	10,000	-10,000
			諸謝金	20,000	10,000	-10,000
			借料（バス・レンタカー代）	100,000	100,000	0
			通信運搬費	8,000	8,000	0
			支払保険料	2,000	2,000	0
			支払手数料			0
			消耗品	10,000	10,000	0
		※その他の事業活動（上記の3つ以外）		70,000	110,000	40,000
			印刷製本費	10,000	10,000	0
			会場費（会場使用料）	30,000	40,000	10,000
			支払保険料		15,000	
			通信運搬費		15,000	
			旅費交通費	10,000	10,000	0
			情報システム費（ホームページ関係）	20,000	20,000	0
				70,000	70,000	0
	管理費					
		会場費		20,000	20,000	
		会議費	25,000		-25,000	
			支部総会費	25,000		-25,000
		印刷製本費	10,000	10,000	0	
		通信運搬費	15,000	15,000	0	
		消耗品	事務用品費	15,000	15,000	0
		支払手数料	5,000	5,000	0	
		雑費		5,000	5,000	
		当期費用合計（B1）			580,000	800,000
当期収支差額（C=A1-B1）			0	0	0	

公益社団法人日本地すべり学会 関東支部運営内規

第1章 総則

(目的)

第1条 この内規は、公益社団法人日本地すべり学会関東支部の運営を円滑に進めることを目的として定める。

2. 関東支部の運営は、公益社団法人日本地すべり学会定款、公益社団法人日本地すべり学会規則(以下「学会規則」という)、支部運営細則、土砂災害緊急調査細則、研究発表会実施細則及びこの運営内規に基づいて実施する。

第2章 支部役員

(支部役員)

第2条 関東支部に、学会規則の定める支部長、副支部長、支部監事のほか、運営委員、幹事長、副幹事長、幹事を置く(以下「役員」という)。

2. 役員の定員は下記のとおりとする。

支部長	1名
副支部長	1～2名
支部監事	2名
運営委員	5～20名
幹事長	1名
副幹事長	1～2名
幹事	5～20名

3. 副支部長を2名置く場合は、代行順位を付けるものとする。第1順位の副支部長は、支部長に事故あるときにその職務を代行する。

(職務・報酬)

第3条 運営委員は、支部の運営を協議する。

2. 幹事は支部の運営に関する実務を行い、幹事長はこれを総括する。副幹事長は幹事長を補佐する。

3. 役員は、無給とする。

(選任)

第4条 支部長、副支部長、支部監事は、運営委員会が支部に所属する正会員のうちから推薦し、支部総会において選任する。

2. 運営委員は、支部に所属する正会員のうちから支部長が委嘱する。

3. 幹事長、副幹事長、幹事は、原則として、支部に所属する正会員のうちから支部長が委嘱する。

(任期)

第5条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

2. 支部長、副支部長、監事の任期の始期は、総会において選任された時とし、次期役員が総会において選任された時までとする。

3. 運営委員、幹事長、副幹事長、幹事の任期の始期は、支部長が委嘱した時とし、次期役員が委嘱される時までとする。

4. 役員が欠員となったときには、役員を選任することができるが、任期の終期は、欠けた役員の任期の終期と同じとする。

(解任)

第6条 役員が、次のいずれかに該当するに至ったときには、総会の決議によって解任することができる。

(1) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えられないとき。

(2) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき

第3章 支部総会

(構成・議長)

第7条 支部総会は、支部に所属する正会員をもって構成する。

2. 支部総会の議長は、支部総会において、支部に所属する正会員(役員を除く)の中から選出する。

(決議事項)

第8条 支部総会は、支部に関する次の事項を決議する。

(1) 運営内規の変更、廃止

(2) 事業報告及び決算

(3) 会計および業務執行に関する支部監事の報告

(4) 支部長、副支部長、支部監事の選任又は解任

(5) 幹事長、副幹事長、運営委員、幹事の解任

(6) その他、支部総会で審議することが決議された事項

(定足数・議決)

第9条 総会は、支部に所属する正会員の1/5以上の出席がなければ開催することができない。

2. 総会の議事は、出席した正会員の過半数を持って決し、可否同数の時は、議長の決するところによる。

3. 総会に出席できない正会員が、書面または電磁的方法をもってあらかじめ意思を表示した場合は、総会の定足数及び議決数に算入する。

4. 支部総会の議事については、議事録を作成しなければならない。

5. 支部長は、支部監事から、その事由を付した文書により支部総会の開催を請求された場合は、速やかに支部総会の招集をおこなわなければならない。

第4章 運営委員会

(構成・招集・議長)

第10条 運営委員会は、支部長、副支部長、支部監事、運営委員のほか、幹事長、副幹事長をもって構成する。

2. 運営委員会の会議は、支部長が招集する。また、会議の議長は、支部長または副支部長がこれにあたる。

(決議事項)

第11条 運営委員会は、支部に関する次の事項を決議する。

- (1) 支部総会に付議するべき事項
 - (2) 支部総会の決議事項の執行に関する事項
 - (3) 事業計画及び予算
 - (4) 支部長、副支部長、支部監事の推薦
 - (5) その他運営に関する事項
- (議決)

第12条 運営委員会の議事は、決議について特別の利害関係を有する者を除く出席した運営委員会の構成員の過半数をもって決する。

2. 運営委員会の議事については、議事録を作成しなければならない。

3. 運営委員会は、支部運営細則第6条第3項および第4項に規定する会議を兼ねるものとする。

第5章 幹事会

(構成)

第13条 幹事会は、幹事長、副幹事長、幹事をもって構成する。

2. 支部運営を円滑に行うため、幹事長の下に総務、会計、広報、企画の担当を置く。

(役割)

第14条 幹事会は、支部長の指揮を受けて、次の事項を実施する。

- (1) 総会、運営委員会の決議事項に関する事項
 - (2) 支部長の指示した事項
 - (3) その他運営に関する事項
- (会議)

第15条 会議は、幹事長が招集し、必要に応じて、支部長または副支部長の参加を求めることができる。また、支部監事は、必要に応じて、会議を傍聴することができる。

2. 会議の議長は、幹事長または副幹事長がこれにあたる。

3. 幹事長は、会議の内容について、支部長に報告しなければならない。

(事務局)

第16条 幹事会の事務を効率的に処理するために、事務局を設置することができる。

2. 事務局の設置及び運営に関する事項については、支部長が定める。

第6章 災害調査

(職務)

第17条 支部長は、支部区域で発生した災害に対して、調査チームを組織して、情報収集及び現地調査を行うことができる。

2. 支部長は、土砂災害緊急調査細則に定める土砂災害緊急対応委員会から要請があった場合は、調査団員の派遣等を行うものとする。

第7章 研究発表会実行委員会

(設置)

第18条 支部長は、研究発表会実施細則第4条に定められた研究発表会開催の要請をうけ、実施を委任された場合は、研究発表会実行委員会を設置する。

2. 研究発表会実行委員会の設置のための準備、設置されるまでの間の対応は、幹事会が行うものとする。

第8章 文書管理

(公的文書)

第19条 公的文書とは、支部の運営上発信が必要な文書で、かつ支部の代表印を押捺した文書をいう。

(文書の保管)

第20条 公的文書は、発信した文書の控えを幹事長が保管する。

2. 公的文書の保管期間は、原則として発信後2年間とするが、必要な場合は保管期間を延長することができる。

(名簿等の管理)

第21条 支部会員名簿は、必要に応じて、幹事長が本部より提供を受けて、管理する。

2. 支部会員名簿等の取り扱いにあたっては、データの漏えいの防止等のために、必要な処置を講じなければならない。

第9章 会計処理

(金銭の出納)

第22条 支部における金銭の出納、収納および保管は、会計担当の幹事が行うものとする。

2. 支部が管理する預金の出納に使用する印鑑は、支部長の職名を刻した印とし、会計担当の幹事が保管し押印する。

3. 支部運営細則第8条に規定する支部の出納事務担当者には、会計担当の幹事をあてる。

(監査)

第23条 支部監事は、決算時および必要と認められる場合は、支部の会計について監査を行

い、文書により支部総会に報告しなければならない。

（会計書類の管理）

第24条 会計書類は、直近2年分を会計担当の幹事が保管する。また、それ以前の分は、本部に保管を依頼する。

2 会計書類の取り扱いにあたっては、滅失、き損の防止等のために、必要な処置を講じなければならない。

第10章 技術委員・研究会

（技術委員）

第25条 支部長は、技術者教育、啓発活動を行うために、原則として、支部に所属する正会員のうちから、技術委員を委嘱することができる。

2. 技術委員の任期は、第5条に定める役員の任期と同等とする。

（研究会）

第26条 支部長は、特定のテーマの調査研究活動を行うために、研究会を設置することができる。

付 則

1. 本運営内規は、平成24年10月1日から施行する。
2. 本運営内規の変更（第4条、第17条）は、平成28年5月12日から施行する。
3. 本運営内規の変更（第22条、第25条、第26条）は、平成29年5月12日から施行する。
4. 本運営内規の変更（第20条、第21条、第24条）は、平成30年5月7日から施行する。
5. 本運営内規の変更（第19条、第20条）は、令和元年5月10日から施行する。
6. 本運営内規の変更（第9条）は、令和2年5月9日から施行する。

功労者に対する感謝状の贈呈について

平成 27 年 6 月 1 日
平成 28 年 4 月 15 日一部改正
関東支部

1. 関東支部長は、支部の発展に顕著な功績があった者、長年継続して役員活動を行い関東支部の振興に寄与した者に対して、感謝状を贈呈することができる。
2. 感謝状贈呈の基準は、原則として次のとおりとする。
 - (1) 支部役員として、関東支部の発展に顕著な功績があったと認められる者で、運営委員会及び幹事会の推薦を受けた者
 - (2) 支部役員として、5 年以上、積極的かつ継続的な役員活動を行い、関東支部の振興に寄与したと認められる者で、幹事会の推薦を受けた者
 - (3) 関東支部の発展に多大な功績があり、支部長が特に必要と認めた者
3. 贈呈時期は、支部役員については、退任後とする。
4. 感謝状の贈呈は、原則として、支部の行事等に合わせて実施する。なお、必要と認められる場合は、郵送等によることができる。
5. 原則として、記念品等の贈呈は行わない。
6. 感謝状の贈呈は、平成 27 年 6 月 1 日から実施する。

(平成 27 年 6 月 1 日 幹事会承認)
(平成 28 年 4 月 15 日 幹事会承認)

感謝状の贈呈の記録

感謝状贈呈は、関東支部の活動へ貢献していただいた方に、関東支部として感謝の気持ちを表わすものです。

期日	氏名	事由
平成 27 年 6 月 1 日	故今野幸喜殿	今野氏は、病気療養のために、平成 26 年度末をもって幹事を退任されましたが、平成 21 年度より、会計、Web 管理の担当幹事及び平成 26 年度研究発表会幹事を務められ(国土防災技術)、関東支部の振興に貢献されたと認められますので、幹事会として感謝状贈呈の対象者として推薦いたします。(平成 27 年 6 月 1 日 幹事会承認)
平成 28 年 5 月 12 日	浦元啓殿	浦氏は、転勤のために平成 27 年度末をもって幹事を退任されましたが、平成 22 年度より、総務担当の幹事及び副幹事長を務められ(日本工営)、関東支部の振興に貢献されたと認められますので、幹事会として感謝状贈呈の対象者として推薦します。(平成 28 年 4 月 15 日 運営委員会・幹事会承認)
平成 28 年 5 月 12 日	鵜飼恵三殿	鵜飼氏は、関東支部の設立にご尽力されるとともに、平成 18 年 4 月設立後は、平成 21 年度まで 2 期にわたって関東支部長を務められ(群馬大学)、関東支部の発展に多大な功績があったと認められますので、運営委員会及び幹事会として、創立十周年を記念した感謝状贈呈の対象者として推薦します。(平成 28 年 4 月 15 日 運営委員会・幹事会承認)
令和 3 年 11 月 19 日	井上敬資殿	井上氏は、令和 2 年 3 月をもって運営委員を退任されましたが、平成 20 年度より平成 27 年度までシンポジウム担当幹事、平成 26 年度研究発表会幹事、平成 28 年度より令和元年度まで運営委員を務められ(農村工学研究所)、関東支部の振興に貢献されたと認められますので、幹事会として感謝状贈呈の対象者として推薦します。(令和 3 年 11 月 19 日 幹事会承認)
令和 3 年 12 月 3 日	落合博貴殿	落合氏は、平成 22 年度から平成 27 年度までの 3 期 6 年にわたって関東支部長を務められ(森林総合研究所)、関東支部の発展に多大な功績があったと認められますので、運営委員会及び幹事会として、関東支部創立十五周年を記念した感謝状贈呈の対象者として推薦します。(令和 3 年 12 月 3 日 運営委員会・幹事承認)

公益社団法人日本地すべり学会関東支部
令和3年度関東支部役員名簿（令和4年4月5日現在）

区分	氏名	所属	備考	役割分担
支部長	櫻井正明	株式会社山地防災研究所		
副支部長	若井明彦	国立大学法人 群馬大学大学院 理工学府		
監事	道畑亮一	一般財団法人 砂防・地すべり技術センター		
	天田雅之	群馬県 環境森林部森林局 森林保全課	(退任)	
運営委員	白木克繁	国立大学法人 東京農工大学 農学部森林環境学講座		
	新井場公德	消防庁消防研究センター		
	楠本岳志	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 施設工学研究領域地域防災ユニット		
	岡本 隆	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 森林研究部門		
	内藤浩史	山梨県 県土整備部 砂防課	新任	
	黒沢 勉	群馬県 環境森林部 森林保全課	新任	
	宇次原雅之	日特建設株式会社 技術開発本部		
	丸 晴弘	日本工営株式会社		
	木村勝美	株式会社ダイヤコンサルタント 防災・保全事業部	幹事兼務	
	滝口 潤	明治コンサルタント株式会社 東京支店防災課	幹事兼務	
	林 一成	奥山ボーリング株式会社	幹事兼務	
	齊藤雅志	国土防災技術株式会社 技術本部技術部	幹事兼務	
技術委員	上野将司	応用地質株式会社		
幹事長	小林 豊	日本サーベイ株式会社		総括
副幹事長	小野田敏	アジア航測株式会社 コンサルタント事業部		会計
	平木慎一	株式会社日さく 東日本支社 調査部		総務1
	鷺尾洋一	国立研究開発法人 土木研究所		企画2
	正田大輔	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門		企画2
	鈴木拓郎	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 森林研究部門 森林防災研究領域		総務1
	土志田正二	消防庁消防研究センター		広報
	佐藤高彰	群馬県 環境森林部 森林保全課		広報
	関 修	山梨県 県土整備部 砂防課	新任	広報
	木村勝美	株式会社ダイヤコンサルタント 経営本部 品質管理部		総務2
	滝口 潤	明治コンサルタント株式会社 技術本部 東京技術部防災課		企画1
	林 一成	奥山ボーリング株式会社		企画1
	齊藤雅志	国土防災技術株式会社 技術本部技術部		企画1
	樽角 晃	応用地質株式会社		企画1
	馬場貴志	日本工営株式会社 国土保全事業部 防災部		総務2
	田中昭雄	株式会社環境地質		企画1
出納事務担当者	小野田敏	アジア航測株式会社 コンサルタント事業部		
支部情報・事務責任者	小林 豊	日本サーベイ株式会社		
アウトリーチ連絡会担当	林一成	奥山ボーリング株式会社		
会員数対策担当	滝口潤	明治コンサルタント株式会社		
(理事会窓口/副会長)	中里 裕臣	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門		

役割分担

総括	全体調整・渉外	小林(幹事長)
会計	会計処理、監査対応、通帳の保管・出納処理（出納事務担当者）	小野田(副幹事長)
総務1	総会等運営	平木(副幹事長)・鈴木
総務2	幹事会・運営委員会運営、森林CPD管理	木村・馬場
企画1	現地検討会、講習会の企画・運営(現地検討会・若手対策事業)	林・齊藤・樽角・田中・滝口
企画2	シンポジウムの企画・運営	正田・鷺尾
広報	広報活動・関係機関調整	土志田・佐藤・関
特任事項	支部Web管理	林
	共済事業	木村

(公社) 日本地すべり学会関東支部 令和3年度総会 開催報告

令和3年度の支部総会は令和3年5月7日(金)に実施され、新型コロナウイルスの感染状況を考慮して少人数定員制での開催となりました。当日はさいたま市の(公財)埼玉県産業文化センターソニックシティビル7階707会議室を会場に、出席者10名(表決書数6名、委任状数98名、合計114名)の支部会員の参加のもと、議長に日特建設株式会社の上野雄一氏が選出され、予定された議案および報告事項が全て賛成多数で了承されました。

また総会に引き続き、関東支部技術委員の上野将司氏によるミニ講演会「表層崩壊の発生場と危険度評価」が行われました。講演会の様子は後日関東支部ホームページにて公開されました。



総会の実施状況



ミニ講演会の公開 <https://youtu.be/A02xFL09kr4>

(公社) 日本地すべり学会関東支部 令和3年度オンライン講習会 開催報告 ー富士山と災害ー

1. 実施概要

本年度は、オンライン講習会として、山梨県富士山科学研究所のご協力を得て、「富士山と災害」をテーマとしたオンライン講習会を実施しました。

富士山は、山梨県と静岡県にまたがる成層火山ですが、日本の象徴として、国内外に広く知られており、「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」として世界遺産にもなっています。一方、富士山は、古くから、噴火をはじめとして、いろいろなタイプの災害が発生している場所でもあります。ここでは、富士山をフィールドとする研究者に講演をお願いして、富士山と災害について、理解を深めたいと考え、講習会を開催しましたので、報告します。

- (1) 開催日：令和3年8月10日（火）
- (2) 開催場所：ハイランドリゾートホテルスパ会議室
よりオンライン配信（zoom利用）
- (3) 主催：(公社) 日本地すべり学会 関東支部
- (4) 協力：山梨県富士山科学研究所
- (5) 講演者：富士山火山防災研究センター長
吉本充宏 氏
- (6) 参加人数：80 名

2. 講習会の内容

講習会では、富士山の成り立ちから富士山噴火の特徴やハザードマップ、噴火時の避難や普及啓発活動について学びました。

ご講演いただきました吉本様は研究所に属する富士山火山防災研究センターのセンター長であり、富士山科学研究所は、富士山の自然、文化、火山防災を重点的に研究する県直轄の研究機関であります。

まず、富士山は、玄武岩主体の化学組成をもち、様々な噴火形態を持つ特徴があり、玄武岩質であることから、火口がいろいろなどころにでき、玄武岩マグマは移動速度が速いといった噴火の特徴をお話いただきました。噴火活動については、資料映像を通してわかりやすい説明をいただき、生活への影響を身近に感じられるようになりました。また、噴火形態を考慮したハザードマップについて説明をいただき、ハザードマップもまた新しい技術やデータの蓄積によりマップの改定が行われていることも伺いました。さらに、これらマップを利用して、富士山の地形を考慮した避難、噴火警戒レベルの登山者、一般住民等への周知の取り組みについて教えていただきました。普及啓発では、シミュレーションによる理解の深化を図られ、住民説明会や研究会、防災教育の実施をされ、リスクの正しい理解を通して命をまもる活動に取り組まれていることがわかりました。

今回は、富士山の成り立ちからハザードマップ、普及啓発への流れについて一貫してお話を聞けて非常に理解が深まりました。また、本講習会では、火山としての富士山を災害という側面から学ぶことができ、非常に有意義な機会となりました。

3. おわりに

関東支部では、今後も現場に密着した講習会や現地検討会や学生・若手技術者の育成をテーマとした活動を実施していく予定です。

最後に、講習会の開催にあたり、御協力頂いた山梨県富士山科学研究所富士山火山防災研究センターの吉本様また関係者各位には大変お世話になりました。ここに記して、厚く御礼申し上げます。



写真-1 講演者：吉本富士山火山防災研究センター長

(参考) アンケート結果概要

幅広い年齢層の方のご参加をいただき、今後もこのような講習会に参加したいとのご意見を多数いただきました。アンケートへのご協力ありがとうございました。



(関東支部幹事会 樽角晃)

関東支部創立 15 周年記念シンポジウムの開催について

(公社) 日本地すべり学会 関東支部

関東支部創立 15 周年記念シンポジウムとして会長経験者に、オンラインで地すべり技術の一つを取り上げて話題提供をいただき、地すべり技術の現状と課題について意見交換を行った。155 名が参加し、講師の講演動画は支部のホームページに掲載した。

1. 主催：公益社団法人日本地すべり学会関東支部

2. 期日及び時間：令和 3 年 8 月 24 日（火）
13:30-16:30（開場 13:15）

話題提供時間 2 時間

質疑応答・討論 1 時間

3. 形式：オンライン形式（ZOOM 使用）

場所：オンライン（航空会館から配信）

4. 内容：

櫻井正明関東支部長より開会の挨拶を行い、落合博貴様（一般社団法人日本森林技術協会 技術指導役）より、「最近の土砂災害と森林の機能について」、土屋 智様（静岡大学名誉教授、国土防災技術(株) 斜面環境研究所 所長）より、「九州北部豪雨に伴う斜面崩壊の発生場の特徴」、檜垣大助（弘前大学名誉教授、日本工営(株) 国土基盤整備事業本部 理事・技師長）より、「地形情報を活かした斜面災害リスクへの対応」の講演が行われた。また、参加者を交えた質疑応答・意見交換（講演者間）が行われ、活発な討議が行われた。

（文責：関東支部幹事 正田大輔）



シンポジウム時の状況

（公社）日本地すべり学会 関東支部・（一社）斜面防災対策技術協会 関東支部 「令和元年東日本台風(19号)災害による富岡市内匠[たくみ]地区の災害と対策工の見学」 開催報告

1. 実施概要

関東支部では、平成27年度より（一社）斜面防災対策技術協会 関東支部との共催事業を行っております。今年度は、令和元年東日本台風(19号)によって災害が発生した富岡市内匠[たくみ]地区の被災状況や対策工事状況について、現地見学会を行いました。以下に報告します。

- (1) 開催日：令和3年10月21日（木）
- (2) 開催場所：群馬県富岡市内匠[たくみ]地区
- (3) 主催：（公社）日本地すべり学会 関東支部 および
（一社）斜面防災対策技術協会 関東支部
- (4) 協力：群馬県県土整備部砂防課・富岡土木事務所
日本サーベイ株式会社、岩井建設株式会社、
タルヤ建設株式会社
- (5) 参加人数：30名

2. 現地見学会の内容

令和元年東日本台風(19号)は、東日本を中心とした広範囲に大雨、暴風をもたらし、死者行方不明者100名を超える災害となりました。群馬県内でも記録的な雨量を観測し各地で洪水、土砂災害が相次ぎ、死者4名の人的被害が発生しました。このうち3名は、富岡市内匠[たくみ]地区で発生した土砂災害によるものです。

内匠[たくみ]地区は、土砂災害警戒区域外にあたることから、災害発生状況やそのメカニズムが注目され、富岡市が検証委員会を立ち上げるなどして調査が行われた箇所です。

見学会では、まず冒頭で本見学会の開催に協力して頂いた群馬県県土整備部砂防課小池次長様に災害発生状況と対策工の概要について説明して頂きました。続いて調査と対策工設計を行った日本サーベイ（株）の担当者から個々の具体的な説明を受けました。対策工は集水井と現場打ち法枠工が施工中の段階で、説明を受けた後に、各自、自由に見学をしました。調査で掘削したボーリングコアの前では、技術者同士による活発な議論が交わされるなど、有意義な見学会となりました。

3. おわりに

関東支部では、来年度以降も（一社）斜面防災対策技術協会 関東支部との共催事業を実施していく予定です。

最後に、見学会を合同で開催しました（一社）斜面防災対策技術協会 関東支部の関係者各位に厚く御礼を申し上げると共に、協力頂いた群馬県県土整備部砂防課・富岡土木事務所、他関係者に厚く御礼申し上げます。



写真-1 斜面上部での概要説明



写真-2 対策工(集水井)見学状況



写真-3 ボーリングコアの確認



写真-4 現地での集合写真

（関東支部幹事会 木村勝美）

(公社) 日本地すべり学会関東支部 令和3年度基礎技術講習会 「地すべりのすべり面を学ぶ」開催報告

1. 実施概要

関東支部では、地すべりを初めとした土砂災害に関心のある学生や、地形・地質に関する基礎知識を深めたい技術者の方々を対象として、基礎技術講習会を開催しました。今回は、地すべりを扱う上での最も重要なテーマの一つである「すべり面」をテーマとして講習会を行いましたので、以下に報告します。

- (1) 開催日：令和3年10月26日（火）
- (2) 形 式：Zoomによるオンライン配信
- (3) 主 催：(公社) 日本地すべり学会 関東支部
- (4) テーマ：地すべりのすべり面を学ぶ
- (5) 講 師：柴崎達也氏
(国土防災技術株式会社 技術研究所長)
- (6) 協 力：国土防災技術株式会社
- (7) 参加人数：148名（うち非会員 68名・学生 3名）

2. 講習会の内容

本講習会では、国土防災技術株式会社 技術研究所 所長の柴崎達也氏に講義をお願いしました。

本講習会では、以下に示す、すべり面に関わる広範な内容についてお話をいただきました。

1. すべり面のせん断強度試験技術
2. 様々な地質体の地すべりのすべり面観察例
3. すべり面、せん断センスの認定法（せん断帯構造）
4. スメクタイトに富むすべり面粘土
5. 結晶片岩地帯の礫分に富むすべり面粘土
6. すべり面研究における最新の知見・研究成果

講習では、すべり面の基本的な調査・判定方法の他、すべり面のマクロ・ミクロスケールの構造が観察できる貴重な写真や蓄積された豊富な試験データを、動画を交えながら、ご説明いただきました。また、最新の研究成果についてもご説明いただき、非常に中身の濃い内容となり、初学者からベテランの受講者まで大変満足頂ける内容となりました。

講習会の後半部分では、参加者から事前に受けつけた質問の他、当日の講義内容に関する質問について、一つ一つ丁寧に回答頂きました。質問については、参加者からの貴重な意見も頂き、活発な議論が行われました。

講習会の参加者は、約4割が非会員で、10歳代～30歳の参加者も約4割ということで、若手・会員数対策の主旨に沿った開催となり、学会活動を啓蒙する上でも非常に有意義な機会となりました。開催後の参加者アンケ

ートでは、約95%が「参加して良かった」と回答頂きました。一方、改善点として、講習会の時間に対して、興味深い内容が盛りだくさんだったこともあり、「内容や対象者を絞った開催」や、「数回に分けた開催」の意見もありました。

なお、本講習会の講演動画は、関東支部のホームページにて公開予定です。

3. おわりに

関東支部では、今後も現場に密着した技術講習会や現地検討会、学生・若手技術者の育成活動を実施していく予定です。

最後に、本講習会の開催にご尽力いただいた講師の柴崎達也氏と、国土防災技術株式会社のご協力に厚く御礼申し上げます。

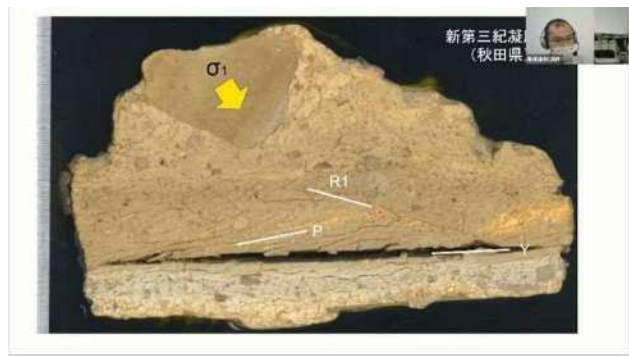


図-1 オンライン講習の様子

(関東支部幹事会 滝口 潤)

支部会員の皆さまへのお知らせ

1) 学会名簿（会員情報）について

関東支部総会の支部会員の確定は、年度末に学会に登録された会員情報（以下学会名簿と呼ぶ）に基づいて行います。また、支部会員への総会の連絡は、学会名簿に掲載されたメールアドレスに電子メールにより行います。年度末には、学会名簿の記載内容をご確認いただくとともに、変更があった場合は速やかに変更を行ってください。

2) 支部行事の連絡について

関東支部の行事の連絡は、主として、①学会メーリングリスト、②関東支部 Web ページを通じて行います。学会メーリングリストにぜひ登録してください。

●学会名簿

学会名簿に記載された会員情報の確認と変更は、学会 Web ページから行えます。

学会 Web ページ→会員→会員情報の確認と変更

<https://japan.landslide-soc.org/join/update.html>

●学会メール配信サービス

学会メーリングリスト（jisuberi）への登録等は、学会 Web ページを参照してください。

学会 Web ページ→会員→自由参加のメーリングリスト

https://japan.landslide-soc.org/join_index/maillinglist_index.html

●関東支部 Web ページ

学会 Web ページから、「関東支部」をクリックしても入ることができます。

<https://japan.landslide-soc.org/kanto.html>

